Twitter:@huuhatsu

風力発電の真実を知る会 検索

HPへアクセス！

消費者が知らない再生可能エネルギーの真実

風力発電の真実を知る会

あなたは知っていますか？

生態系の破壊

渡り鳥の営巣地が奪われ、絶滅危惧種の鳥がバードストライクで死んでいます。

再エネ賦課金

消費者は電気料金から自動的に1kw/hあたり2.9円の賦課金を負担させられています。

健康被害

周辺住民に頭痛・不眠・めまいなどの心身の不調が表れています。

ゴミ

老朽化や故障で使用されなくなれば、鉄と油とプラスチックのゴミです。処分に莫大な費用が掛かります。

危険性の周知不足

実証実験施設の爆発や、ブレードの落下事故・火災が多発しています。

風力発電にはあなたが負担した電気代が使用されています。

決して無関係ではありません。

周知されない実情を知るために、勉強会・講演活動を行っています。

串崎風力発電所火災:佐賀県唐津市、大田潤士さん撮影
朝日新聞社提供-2017年

浜中町オジロワシ事故
【撮影】高田令子

昆布盛オジロワシ事故
【撮影】渡辺義昭

再生可能エネルギーとは

再生可能エネルギーとは、太陽光や風力、地熱といった地球資源など自然界に存在するエネルギーを利用して作られるエネルギーを指します。日本では、2009年8月に法律が施行され、定義と具体的な種類が規定されています。太陽光や風など自然の力を利用するため、安定供給に結び付きにくいエネルギーです。全国でどのくらい発電を行っているのか、データは公表されていません。

クリーンなエネルギー？

風車は強化プラスチック・鉄などでできた工業製品。製造過程で膨大な石油資源を浪費します。法定耐用年数は17年で、寿命がくると「産業廃棄物」として処分され、莫大な費用がかかります。不安定であるために、常に化石エネルギーによる発電でアイドリングしてバックアップしています。風の力だけで発電できるわけではありません。

風力発電の健康影響の恐れ

頭痛や不眠・めまいなどの健康被害が、全国各地で報告されています。
風力発電が停止したり、風車から離れると症状が改善される事例もあります。
環境省は「風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響について、現段階において明らかな関連は確認できない」として認めていません。

発電量と買取制度・電気代の負担

毎月の電気料金の中で支払っている“再生可能エネルギー賦課金”をご存知ですか？
電力会社が固定価格で一定期間買い取る費用を、電気の利用者が支払っています。
2018年度において、電気利用者は約2.4兆円の賦課金を払っています。

事故・火災

絶滅危惧種のオジロワシや野鳥・コウモリが風車にぶつかって、多数死んでいます。
火災が発生しても、はしご車が届かず、焼け落ちるのを待つことしかできません。
落雷や故障により、羽が落ちたり、バラバラになり破片が遠くまで飛散します。

あなたも身近なエネルギーについて正しい知識を身につけませんか？
info@winpow-comaga.kilo.jp **へお問い合わせください→**